

四條畷市 田原地域における移動手段に関するアンケート調査結果

1.調査概要

・田原地域における課題の1つである「公共交通手段の確保・維持」の解決に向け、田原地域内の移動・外出状況や移動に対するニーズ、新たな移動手段の導入等についてアンケート調査を行いました。

対象: 田原地域在住の方（上田原、下田原、田原台、緑風台、さつきヶ丘）

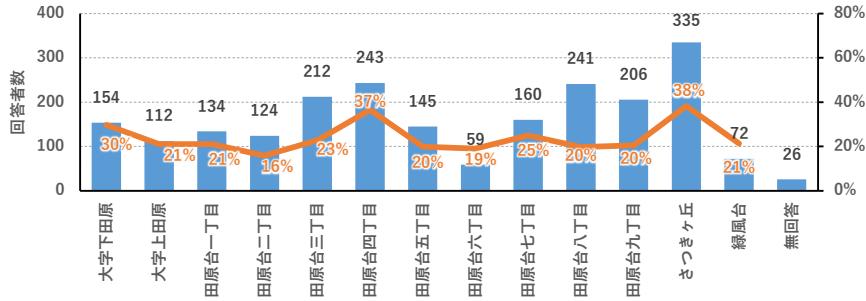
期間: 令和2年12月14日(月曜日)～令和3年1月15日(金曜日)まで

方法: 地区役員の方による各世帯へアンケート用紙の配布。郵送または地区の役員、田原支所へ提出。

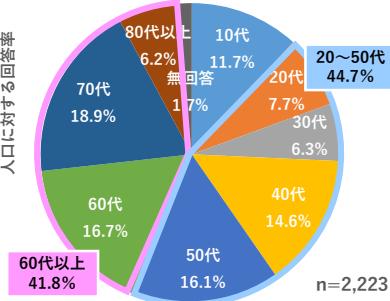
2.回答者の属性

- ・地域全体で920世帯、2,223名からアンケートの回答を収集。
- ・居住地別では、回答者数、回答率ともにさつきヶ丘が最も多く、次いで田原台4丁目が多い。
- ・年齢構成は、70代が18.9%と最も多く、次いで60代(16.7%)、50代(16.1%)の順。

(回答者の居住地)



(回答者の年齢構成)

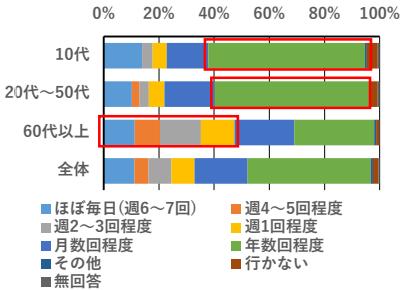


3.田原地域内の主な拠点への現在の外出状況

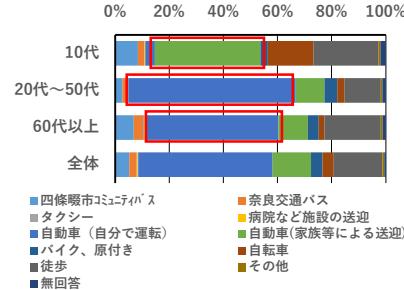
①グリーンホール田原・田原図書館 周辺

- ・出かける頻度は、50代以下は約6割が「年数回程度」であるのに対し、60代以上は約5割が「週1回以上」。
- ・移動手段は、10代の約4割が「家族等による送迎」、20代～50代の半数以上、60代以上の約半数が「自分で運転」。
- ・地域内の移動手段の充実により、出かける頻度が「増加する」と回答したのは各世代とも約2割存在。

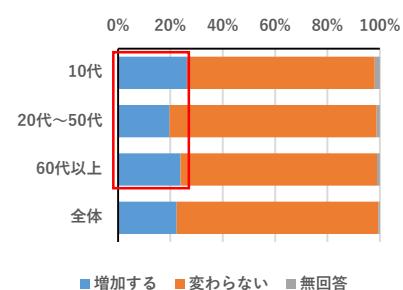
(出かける頻度)



(主な移動手段)



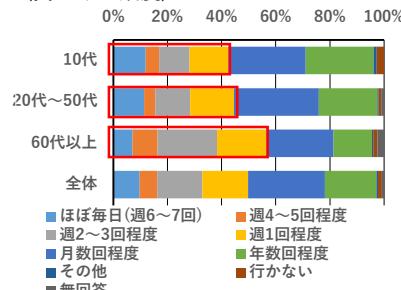
(移動手段の充実による出かける頻度の変化)



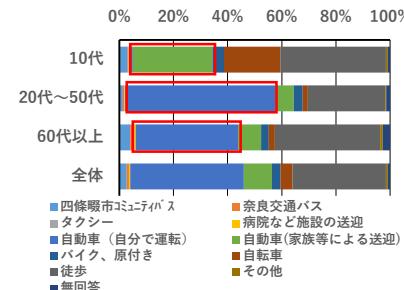
②田原台センター 周辺

- ・出かける頻度は、「週1回以上」が全体で約5割、60代以上では約6割を占める。
- ・移動手段は、10代の約3割が「家族等による送迎」、20代～50代の半数以上、60代以上の約4割が「自分で運転」。
- ・地域内の移動手段の充実により、出かける頻度が「増加する」と回答したのは各世代とも約2割存在。

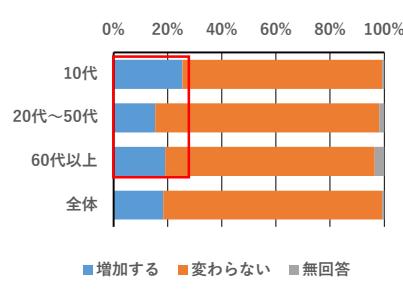
(出かける頻度)



(主な移動手段)



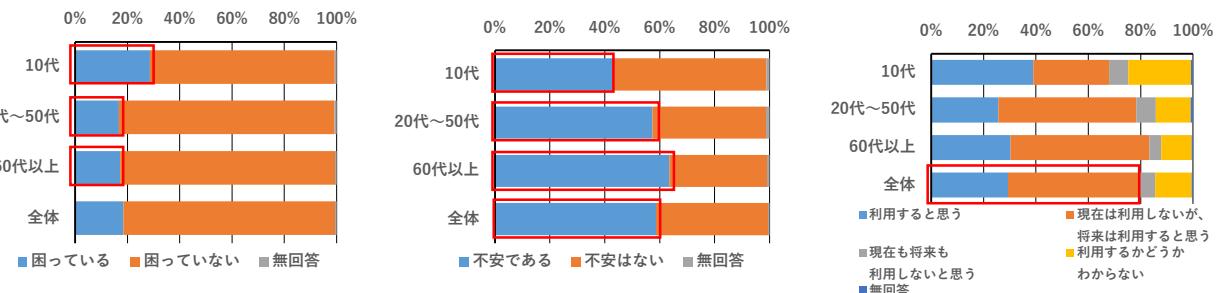
(移動手段の充実による出かける頻度の変化)



4.田原地域内の「移動」に対するニーズ

- ・現状で地域内の移動に「困っている」方は、10代で約3割、20代以上で約2割存在する。
- ・将来の移動・外出機会の減少については、全体の約6割が「不安である」と回答しており、世代が上がるにつれてその割合が高くなる。
- ・地域内の新たな移動支援サービスに対し、全体の約8割が「利用する」または「将来は利用する」と回答。

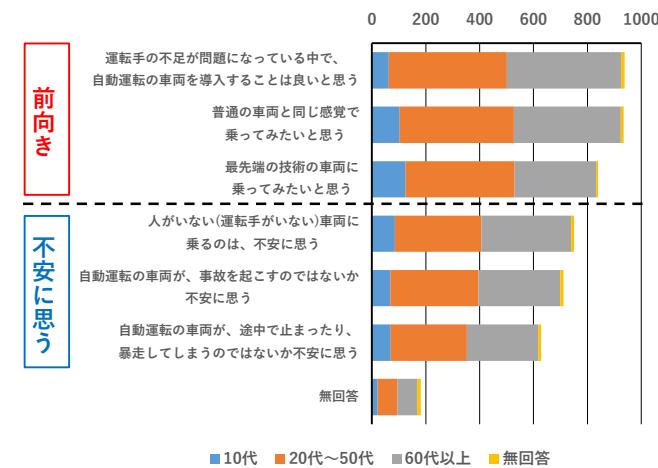
Q1.現在、地域内の移動に困っていますか？ Q2.将来の地域内の移動・外出機会の減少に不安がありますか？ Q3.地域内の移動を支援する移動手段があれば利用しますか？



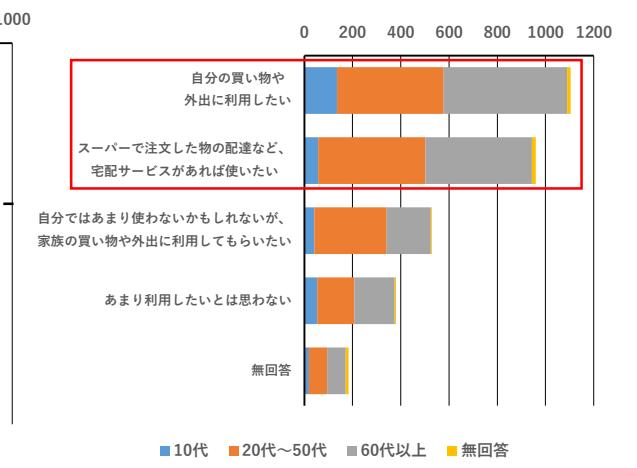
5.新たな移動手段の導入について

- ・自動運転に対する印象は、「乗ってみたい」、「運転手不足の問題に対して良いと思う」という前向きな意見が多い一方で、「不安に思う」意見も多く存在する。
- ・自動運手車両を、「自分の外出に利用したい」が約5割と最も多く、次いで「宅配サービス」が約4割と多い。

(自動運転に対する印象[複数回答])



(自動運転の車両を活用したサービス[複数回答])



参考：他地域で実施されている実証・実装車両



(大阪府 河内長野市など)

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/30/34689.html>



(茨城県 境町など)

<https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page002440.html>



(滋賀県 大津市など)

<https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/dekigoto/R2/35360.html>